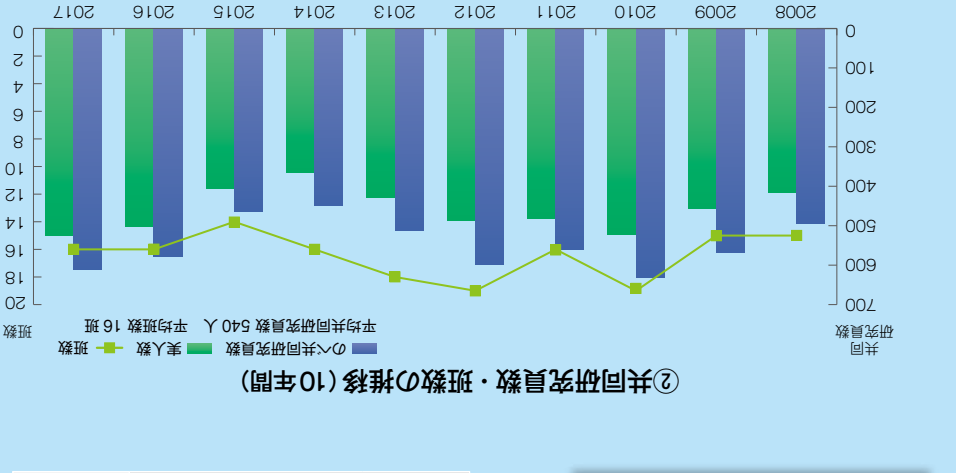


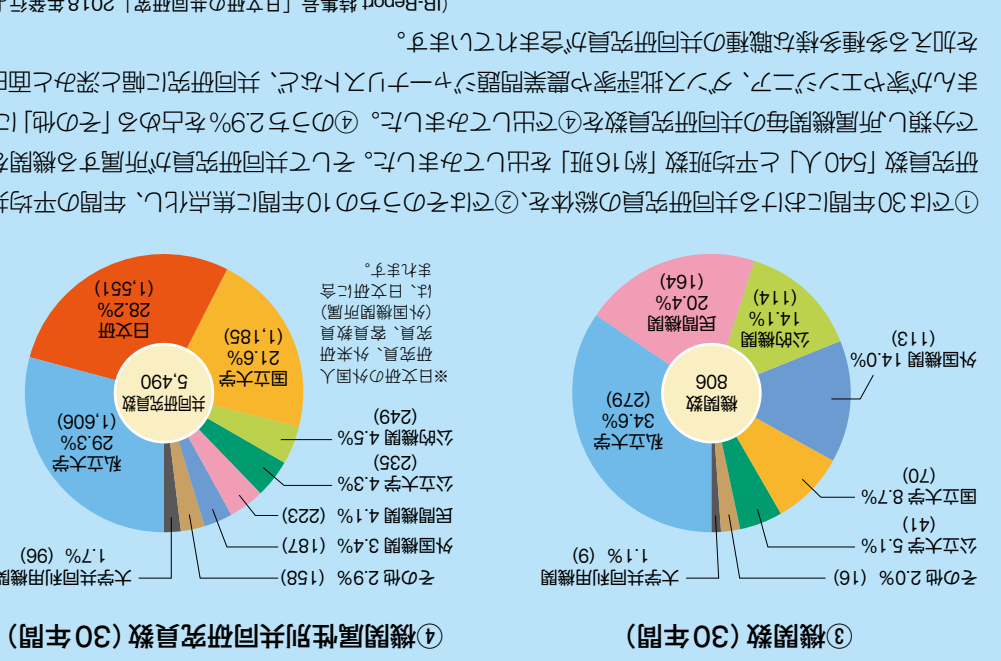
日文科の共同研究者

共同研究者数	5,490
海外共同研究者数	162
平均共同研究者数	32



歴代所長

- 初代 梅原 猛 (1987年5月21日～1995年5月20日)
- 第2代 河合 隼雄 (1995年5月21日～2001年5月20日)
- 第3代 山折 哲雄 (2001年5月21日～2005年5月20日)
- 第4代 片倉 もとこ (2005年5月21日～2008年3月31日)
- 第5代 猪木 武徳 (2008年4月1日～2012年3月31日)
- 第6代 小松 和彦 (2012年4月1日～2020年3月31日)
- 第7代 井上 章一 (2020年4月1日～)



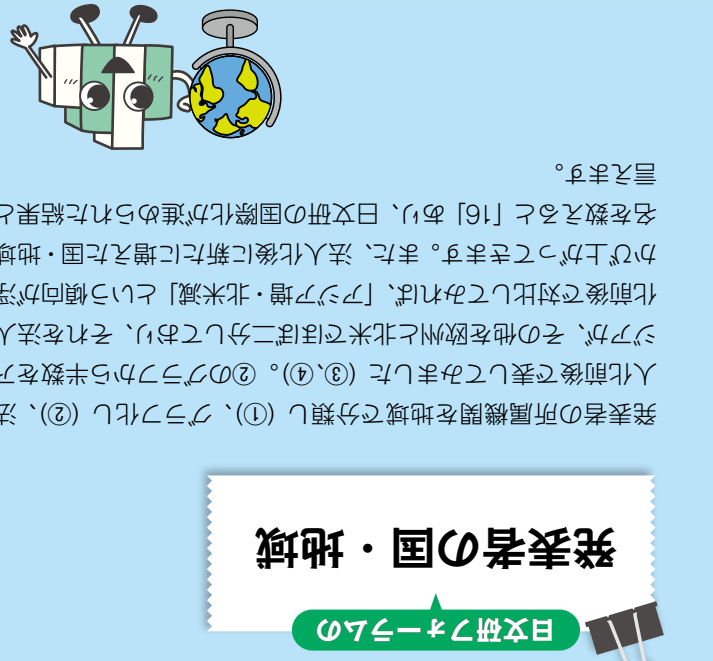
② 共同研究者数・班数の推移 (10年間)



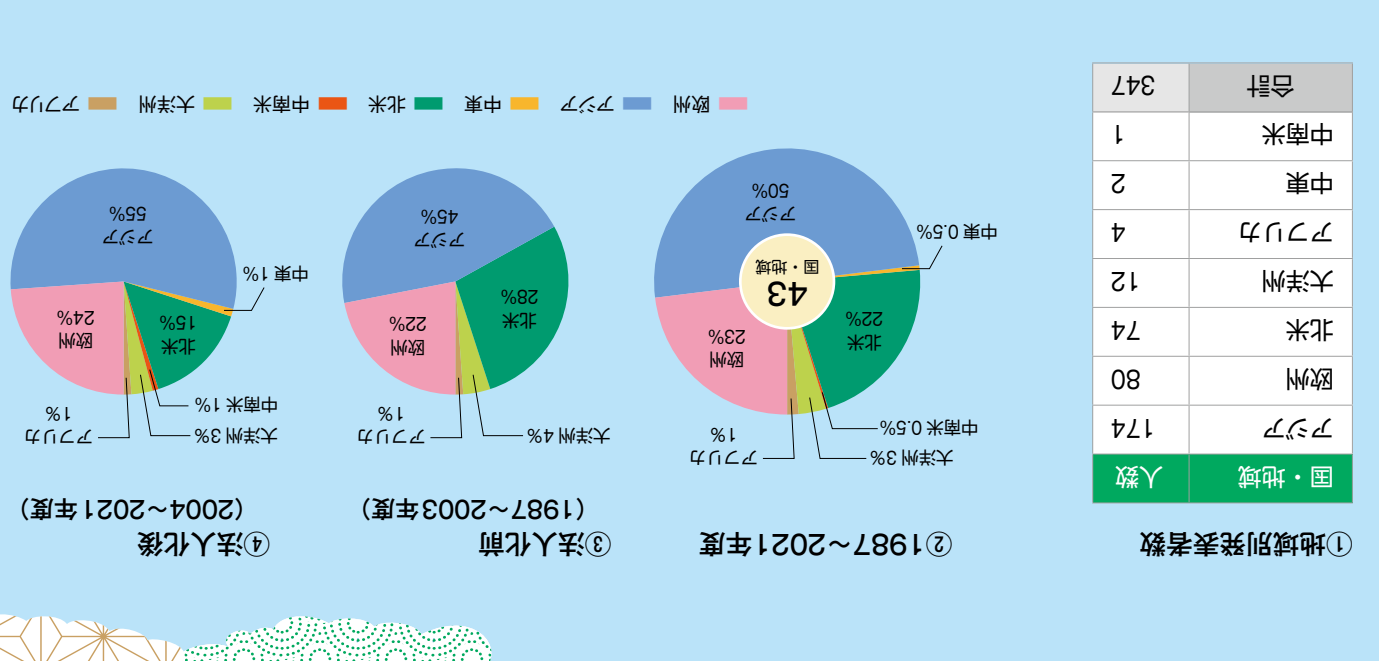
③ 機関数 (30年間)



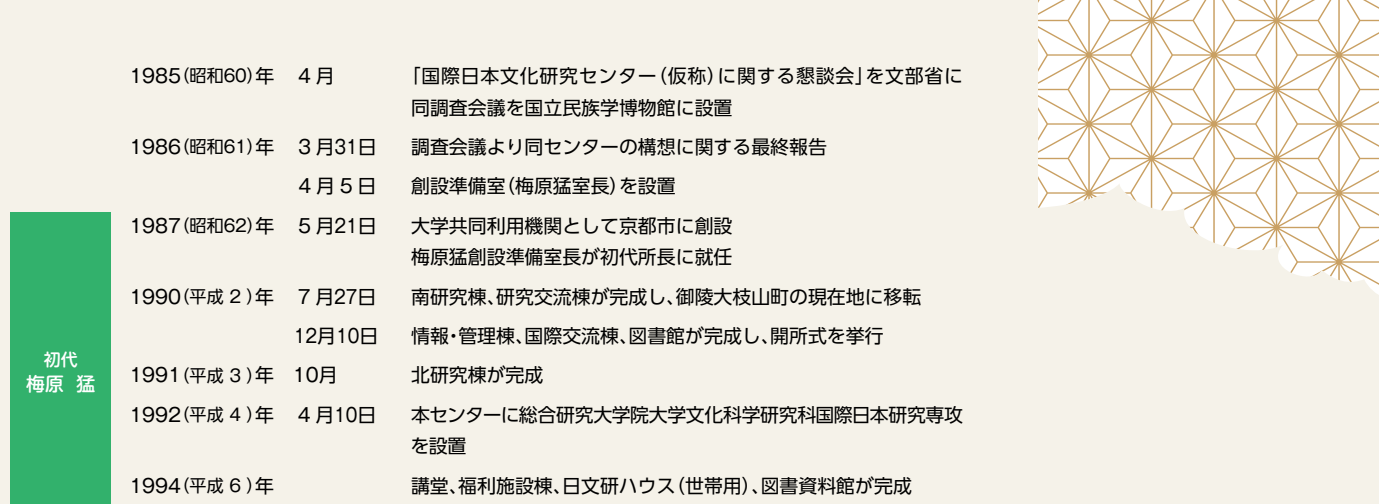
④ 機関別性別共同研究者数 (30年間)



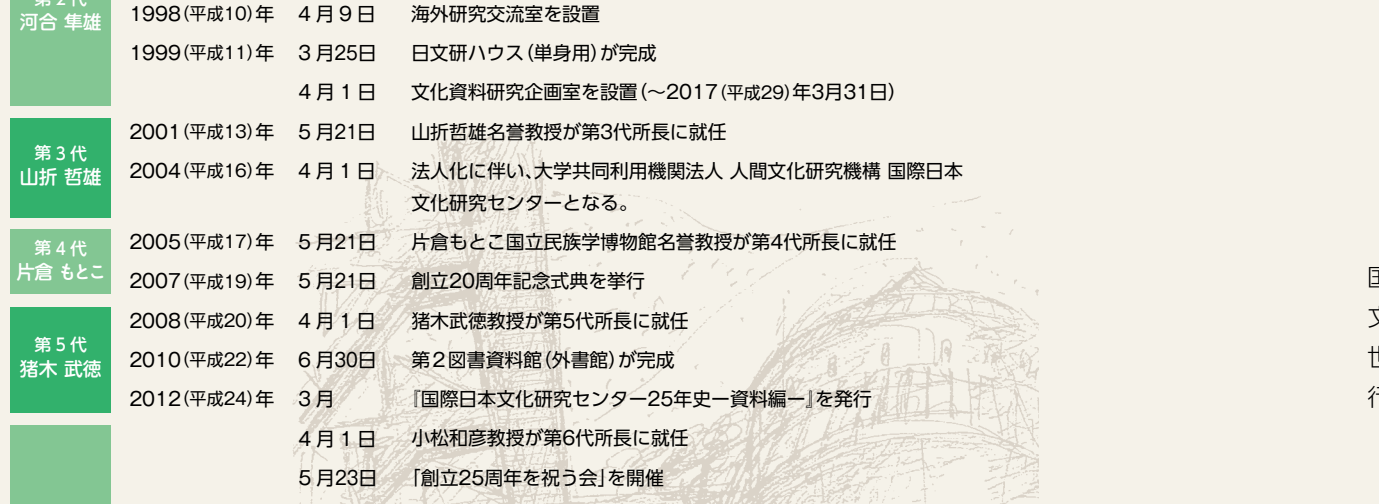
① 地域別発表者数



④ 法人化後 (2004～2021年度)



③ 法人化前 (1987～2003年度)



② 1987～2021年度

見てわかる 日文科

国際日本文化研究センター(日文科)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行う大学共同利用機関です。

編集・発行：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター  
 インスティテュショナル・リサーチ室  
 発行日：2017(平成29)年10月25日 初版発行  
 2022(令和4)年11月10日 改定4版発行

初代 梅原 猛	1985(昭和60)年 4月	「国際日本文化研究センター(仮称)に関する懇談会」を文部省に同調査会議を国立民族学博物館に設置
第2代 河合 隼雄	1986(昭和61)年 3月31日	調査会議より同センターの構想に関する最終報告
	4月5日	創設準備室(梅原猛室長)を設置
第3代 山折 哲雄	1987(昭和62)年 5月21日	大学共同利用機関として京都市に創設 梅原猛創設準備室長が初代所長に就任
	1990(平成2)年 7月27日	南研究棟、研究交流棟が完成し、御陵大枝山町の現在地に移転
第4代 片倉 もとこ	12月10日	情報・管理棟、国際交流棟、図書館が完成し、開所式を挙行政
	1991(平成3)年 10月	北研究棟が完成
第5代 猪木 武徳	1992(平成4)年 4月10日	本センターに総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻を設置
	1994(平成6)年 11月7日	講堂、福利施設棟、日文研ハウス(世帯用)、図書資料館が完成
第6代 小松 和彦	1995(平成7)年 5月21日	河合隼雄名誉教授が第2代所長に就任
	1997(平成9)年 5月24日	創立10周年記念式典を挙行政
第7代 井上 章一	1998(平成10)年 4月9日	海外研究交流室を設置
	1999(平成11)年 3月25日	日文研ハウス(単身用)が完成
第8代 井上 章一	4月1日	文化資料研究企画室を設置(～2017(平成29)年3月31日)
	2001(平成13)年 5月21日	山折哲雄名誉教授が第3代所長に就任
第9代 井上 章一	2004(平成16)年 4月1日	法人化に伴い、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センターとなる。
	2005(平成17)年 5月21日	片倉もとこ国立民族学博物館名誉教授が第4代所長に就任
第10代 井上 章一	2007(平成19)年 5月21日	創立20周年記念式典を挙行政
	2008(平成20)年 4月1日	猪木武徳教授が第5代所長に就任
第11代 井上 章一	2010(平成22)年 6月30日	第2図書資料館(外書館)が完成
	2012(平成24)年 3月	「国際日本文化研究センター25年史—資料編—」を発行
第12代 井上 章一	4月1日	小松和彦教授が第6代所長に就任
	5月23日	「創立25周年を祝う会」を開催
第13代 井上 章一	10月30日	「新・日本学誕生 国際日本文化研究センターの25年」を発行
	2014(平成26)年 7月	第3図書資料館(映像音響館)が完成
第14代 井上 章一	2016(平成28)年 4月1日	インスティテュショナル・リサーチ室を設置
	2017(平成29)年 4月1日	総合情報発信室を設置
第15代 井上 章一	5月17日	創立30周年記念式典を挙行政
	2020(令和2)年 4月1日	井上章一教授が第7代所長に就任
第16代 井上 章一	2022(令和4)年 3月31日	海外研究交流室を廃止
	4月1日	国際研究推進部を設置 国際研究企画室を設置



日文科アカデミックブリッジ』を開催しています。

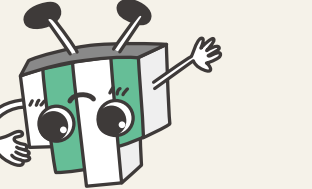
2021年度より、研究の蓄積と最新成果を広く社会に発信するため、一般社団法人日文科アカデミックブリッジ(仮)を設立し、『日文科アカデミックブリッジ』を開催して

2020年度より京都新聞社と連携し、研究の蓄積と最新成果を広く社会に発信す

2022年度より、研究の蓄積と最新成果を広く社会に発信す

2022年度より、研究の蓄積と最新成果を広く社会に発信す

2022年度より、研究の蓄積と最新成果を広く社会に発信す



日文科の研究活動、研究成果及び研究協力活動を一覧に公開し、また、研究者の交流の場として様々なイベントを実施。





# 日文研の資料

- 日文研の代表的な資料
- 日文研の代表的なデータベース
- DB 外像 DB 古写真 DB 在外日本美術
- DB 民事判決原本
- DB 怪異・妖怪伝承 DB 貴重書
- DB 艶本資料
- DB ちりめん本
- DB 艶本資料
- DB ちりめん本
- DB 怪異・妖怪画像
- DB 吉田初三郎式鳥織図
- DB 浪曲SPレコードデジタルアーカイブ
- DB 高島華膏大正ロマン館所蔵近代日本大衆雑誌図像
- DB 高島華膏大正ロマン館所蔵近代日本大衆雑誌図像

公開年 受入年

1987 国立国会図書館所蔵明治期刊行図書マイクロ版集成  
明治期刊行図書約11万点のマイクロ版。デジタル版公開以前の貴重な資料。

1993 「横浜アルバム」  
幕末から明治期に開港地で日本土産として売られていた写真集。

2000 「ブランゲ文庫雑誌コレクション」  
GHQが検閲のために収集した雑誌のマイクロ版。占領期文化の基礎資料。

2002 ヴェサリウス「人体の構造」(1543)  
近代医学の基礎を作った解剖学書。保存状態の極めてよい初版本。

2005 日中文庫  
日中歴史研究センターの旧蔵書。近代日中関係資料約3万5000点。

2007 伝・土佐吉光画「百鬼ノ図」(江戸時代)  
日文研が価値を見出し、「百鬼夜行絵巻」研究に大きく貢献した模写本。

2009 今村大十郎編「阿蘭陀紀事全」寛政8(1796)  
長崎奉行の命を受けた通詞がオランダ商人から得た西洋情報を記した稿本。

2011 鳥居清長画「袖の巻」天明5(1785)頃  
男女の交合を豊かな表情で描いた名品で、春画史に残る傑作のひとつ。

2012 コメリン「東インド会社の起源と発展」(1646)  
アジア・日本関連の貴重な東インド会社資料が数多く収録されている稀覯本。

2014 諸国妖怪図巻／長岡多門画(江戸中期)  
「化物尽くし絵巻」などと呼ばれる絵巻群の一種で、日本各地の伝承の詞書が付されている点特徴。

2017 伊達政宗遣欧使節記(ドイツ語版)(1617)  
通訳兼交渉役として慶長遣欧使節に随行したアマテイによる慶長遣欧使節についての記録。

2018 1588年日本年次報告(イタリア語版)(1590)  
秀吉によるバードレ道放令の旅行およびその追放令によるキリスト教の布教活動への影響を詳細に記録。

2019 イエズ会士日本年報(1582-84、89-90)  
イエズ会士らが書き留めた当時の日本の記録「本能寺の変」等、当時の状況が詳細に記されている。

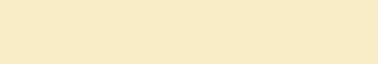
2020 イエズ会士日本報告書:1579年-1581年(1584)  
本能寺の変以前の信長の様子についても記述され、信長が改宗する可能性についても論じられている。

2020 稲生家妖怪絵巻(江戸中期)  
備後国三次の稲生武太夫(平太郎)が体験した怪異を絵巻物にした「稲生妖怪絵巻」と呼ばれる絵巻の類本。

2021 軍医総監・佐藤恒丸書簡資料  
明治～昭和前期の軍医・佐藤恒丸宛の書簡資料など約1500点。軍医でもあった森岡外からの書簡24通を含む。

2022

# 日文研の行事



今年一般公開は運動会?!

文明スポーツと

所蔵資料の展示

今年一般公開は運動会?!

文明スポーツと

所蔵資料の展示

## 一般公開

毎年秋には、市民に日文研を開放し、図書館やセミナー室等の施設案内、講堂での教員による講演会開催、研究資料のデータベース紹介や日文研所蔵の貴重図書・写真等の展示を行ってきました。近年は、オンラインでの一般公開を開催しています。

## 学術講演会

日文研での研究成果の発表と日本研究の普及を目的に、日文研教員による講演会を開催しています。

第70回 日文研学術講演会  
ジョン・ブリン先生 退任記念講演会

2022年11月28日(日) 15:00-16:15 (16:30)

会場 日本学振興センター内 セミナー室1

参加費 無料 (40名程度)

## 学術講演会

日文研での研究成果の発表と日本研究の普及を目的に、日文研教員による講演会を開催しています。

## 日文研フォーラム

漢学者山本梅崖と中国人の知的交流

2022年7月19日(火)

会場 日本学振興センター内 セミナー室1

## 日文研フォーラム

日文研に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民に紹介し、交流の一助となることを主な目的とする催しです。1987年の設立以来、京都市中心部の会場で開催しています。

## 日文研と世界

日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うため、世界中から研究者を受け入れ、また、様々な国で海外シンポジウムを開催しています。

● 海外シンポジウム (第22回は2回にかけて開催) 第27回 オンライン開催

第1回 北京大学  
第2回 復旦大学  
第3回 シェフィールド大学  
第4回 ルーヴァン・カトリック大学  
第5回 ライデン大学  
第6回 ハワイ大学マノア校  
第7回 カリフォルニア大学サンタバーバラ校  
第8回 カリフォルニア大学ロサンゼルス校  
第9回 カルガリー大学  
第10回 シドニー大学  
第11回 シンガポール国立大学  
第12回 香港中文大学  
第13回 カイロ大学  
第14回 ロシア国立文学大学モスクワ国立大学 アジア・アフリカ諸国大学  
第15回 サンパウロ大学  
第16回 ジャワハルラル・ネルー大学  
第17回 インドネシア大学  
第18回 復旦大学  
第19回 コペンハーゲン大学  
第20回 ベトナム社会科学院  
第21回 第22回 第25回 日文研  
第22回 ハーバード大学  
第26回 コーネル大学  
第27回 オンライン開催

地域別外国人研究員・外来研究員受け入れ状況

国・地域数	機関数
8	13

※2016年度から学術交流協定を順次締結。

## セミナー

第271回 日文研大塚セミナー  
講師 安井 真由美 著  
『別れた身体—病いと脱離とジェンダー—』(1998, 2022年)

2022年6月23日(木) 16:30-18:00

## Nichibunken Evening Seminar

on Japanese Studies  
July 7, 2022 (Thursday) 4:30 p.m. - 6:00 p.m.  
@Seminar Room 1, Nichibunken and ONLINE(ZOOM)

The Serious and the Shallow: The Task of Translating MISHIMA Yukio's Life for Sale ("Inochi urimashi")

Stephen DODD  
Edward BOYLE

## 日文研木曜セミナー

研究者の交流を目的に、主に日文研教員が最新の学術テーマを掲げて研究発表する企画です。

## Nichibunken Evening Seminar

研究のため日文研に滞在中の外国人研究者が、英語で研究成果を発表する企画です。

## 出前授業

日文研の地域連携活動の一つとして、小学生にも日文研の研究活動の一端に触れてもらうため、毎年、近隣の京都市立桂坂小学校の5、6年生に対し出前授業を実施しています。

6年1組 / 「唇と吉凶」  
関野樹教授

## 出前授業

6年2組 / 「カレーのあれこれ」  
ゴウランガ・チャラン・プラダン機関研究員

## 日文研の蔵書

蔵書総数 約59万2800冊  
2022年4月1日現在

所蔵外国図書の出版国・地域

約17万7100冊 ※雑誌を除く

出版国・地域	割合
中国	28%
アメリカ	21%
イギリス	10%
ドイツ	6%
台湾	6%
韓国	5%
フランス	4%
オランダ	3%
ロシア等(旧USSR)	1%
その他	16%

## 稀少な言語資料

セルビア語 「平家物語覚一本」(2021)

フィンランド語 「日本音楽」 Lasse Lehtonen (2019)

ウクライナ語 「新古今和歌集」(2018)

アムハラ語 「禪と日本文化」 鈴木大拙 (2019)

## 大衆文化資料

各時代の人々の生活や流行がわかる画像・音響資料を継続収集

大衆雑誌

戦前期外地の旅行案内

はしかまじない関係刷り物

浪曲SPレコード

プロジェクト研究成果物